



## 平成 30 年 2 月 15 日(木) のしろ市民まちづくりフォーラム開催 編

平成 19 年に能代山本の広域的まちづくり団体「のしろ白神ネットワーク」が設立されて以来、毎年開催するフォーラム！今年も全国を視野に豪華な講師をお迎えしての開催となりました！！

基調講演の石田東生氏(筑波大名誉教授)は 6 年前、群馬県嬭恋村で開催された「街道サミット」でご講演いただいた方。全国を駆け回る超多忙な先生と能代で再会できるとは思っていませんでした！

宇都宮一成氏(NPO 法人シクロツーリズムしまなみポタリングガイド)、菊池豊氏(道の駅ふたついで運営検討委員会会長)、鏗啓記氏(道の駅ネットワークと風景街道)、永尾慎一郎氏(国土交通省東北地方整備局道路部道路調査官)「ようこそ能代へ」。事前打ち合わせと昼食は「夢工房 咲く・咲く」で。

会場は初めて能代市市役所大会議室(旧議事堂)。交流会は柳町「旬」、二次会「ひなた」。講師の宇都宮さん(愛媛県今治市在住)、石田先生は初めて食べる能代の食とお酒に感動の連続だったようです。

皆さんのご講演内容は「北羽新報」の掲載記事をご覧ください。中心市街地の現状と対策をお尋ねした結果「諦めないことです」と一言。頭を柔軟に、ユニークな発想を模索する決意をしました！

ご準備くださった行政関係の皆さん、大変お世話になりました。能代の明るい未来創生のため、本気で精進します。

文：能登 祐子



能代市大会議室(旧議事堂)を会場に開催。市民や行政関係者約 70 人の参加がありました。



石田先生のご講演では地方の厳しい現実を再認識するとともに、本当に関係者が連携して知恵とやる気を出せばできることも見えてくると感じました。



遠路、愛媛県今治市からおいでいただいた宇都宮さんのお話は秋田にも当てはまるものがたくさんありました。本気の官民連携ができれば地域は変わりません。



話題提供者に永尾さんと市長が加わったフロアディスカッションでは、中心市街地と郊外施設との連携方策や可能性に関する質問や意見が交わされました。